

環境検討委員会の経緯及び経過

国土交通省設楽ダム工事事務所

環境検討委員会と各検討会

設楽ダム環境検討委員会

ダム建設に伴うダム周辺及びダム下流の自然環境に及ぼす環境影響に関して、環境保全措置等低減策の検討について、指導・助言及びその実施状況の監視を行う。

－平成20年12月設置－

- 各専門組織から検討内容について報告を受け、それについて上記の役割を行う。
- 各専門組織で対象としていない種については「環境検討委員会」で上記の役割を行う。

設楽ダム猛禽類検討会

クマタカ等の希少な猛禽類に関する環境保全措置等低減策の検討について、指導・助言及びその実施状況の監視を行う。

－平成15年7月設置－

設楽ダム魚類検討会

ネコギギ等希少な魚類に関する環境保全措置等低減策の検討について、指導・助言及びその実施状況の監視を行う。

－平成15年6月設置－

設楽ダム湿地管理検討委員会

重要な種の移植先等として、整備を計画している湿地について、維持管理の主体や維持管理方法の検討について、指導・助言及びその実施状況の監視を行う。

－平成20年7月設置－

設楽ダム湿地整備・管理方針ガイドラインの作成をもって(一時)休止し、維持管理組織の立ち上げを目指す。(平成27年3月)

設楽ダム湿地整備検討会

設楽ダム建設事業により影響を受ける貴重種に対しての環境保全措置として、「湿地環境の整備」に関わる動植物の生態等の面を踏まえた整備計画、現地の整備方法について、指導・助言及びその実施状況の監視を行う。

－平成21年9月設置－

環境検討委員会の経緯



※モニタリング部会は、平成8年度以降に管理に移行する施設や、ダム貯水池の水質の状況等から特にモニタリング調査を強化することが必要とされる施設については、ダム等に係るフォローアップ調査の一環としてモニタリング調査が実施される期間、委員会に「モニタリング部会」を設置するものである

環境検討委員会の経過

